

平成25年度 指定管理者評価結果

施 設 名	岐阜県立三光園
指 定 管 理 者	社会福祉法人 岐阜県福祉事業団
共同体である 場合の構成員	
施 設 所 管 課	健康福祉部 障害福祉課
管理運営に対する 評価について の意見	<p>管理基準の充足状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化・重度化に伴い、介護技術等を学ぶ機会を多くして、職員の資質向上に努めている。また、介護機器や介護用具を積極的に導入している。 ・日課の見直しをして、リハビリに取り組んだこと、自己選択を尊重した買い物支援の実施、職種を超えたマニュアルの見直しなど、利用者の人権への配慮とADL、QOLの向上に努めた事は評価できる。 ・研修委員会を中心として、介護技術のスキルの向上に努め、さらに、福祉機器を利用するなど、利用者の安全、安心と職員の健康管理に配慮していることは評価できる。 ・利用者の1泊旅行や日帰り旅行への取り組み、ふれあい外出や食事外出、買い物外出など、多忙な業務の中で、利用者の社会参加を確実に展開していることは高く評価できる。 ・多人数部屋の全面改修が難しい中、プライバシー等に配慮した対応への前向きな取り組みが工夫されている。 ・利用者間のつながり、利用者と職員のつながりが希薄になっているようですが、自治会組織の強化が必要と思われる。 ・身体拘束に関して、利用者や家族に説明しているが、3原則の遵守と身体拘束による弊害を再度研修し、取り組みを考慮することを期待している。 ・正規、非正規職員の割合は改善されていない。
	<p>設置目的の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者定員は充足して利用されている。 ・地域で生活する障がい者を支援する拠点として、短期入所等積極的に受け入れている。 ・山県市の自立支援協議会への毎月の参加や、地域の相談支援事業者や行政と連携し、施設の専門性を地域に還元していることは評価できる。 ・短期入所や日中一時支援事業によるレスパイト支援の展開、必要に応じたケース会議の開催など、臨機応変な対応は評価できる。 ・日課の中にリハビリを位置づけ、高齢重度化の利用者の実態に即した対応がされている。 ・1泊旅行、日帰り旅行を実施し、外出等も計画的に取り入れて余暇の充実に努めている。 ・重度化の中で、全員に身体拘束の同意書をとっている。身体拘束を安易に考えていないか。拘束しない安全確保を研究しているか。 <p>公共性の確保の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設との共同関係は進みつつある。 ・利用者の高齢化・重度化にも対応するため、夜勤体制を2人から3人として、夜間のケアの充実を図っている。 ・高齢重度化に対応するための介護機器等の積極的導入により、利用者にも支援者にも安全安心な介護が進められている。 ・利用者の状況に応じた公平な処遇に努めていると思われる。 ・BCP計画を作成し、大規模災害に備えた準備を始めた。 ・進みつつある共同関係を発展させて、緊急時にも協力・共同の体制ができればよい。

	<p><u>経営状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護用品や機器を導入して、利用者により良いサービスが提供できるよう業務の効率化を図っている。 ・経営効率化の取り組みとして、介護浴槽等の更新や、スカイリフトを新規購入している。 ・拠点区分間繰入金の支出額は適正か。サービスの向上に努めてはいるが、重度化する利用者の状況において、環境整備は適切なのかどうか。費用は有効に使われたい。 <p><u>その他派生的効果等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアは積極的に受け入れている。ただし、行事ボラ、趣味活動ボラの範囲である。外出支援ボラなどのQOL向上のいっそうの取り組みが期待される。 ・地域の行事に積極的に参加するとともに、園内の行事には、ボランティア・地域の人達の参加を得て実施されている。 ・施設実習生の受け入れ、小学校、保育園との交流など、障がいに対する理解や施設への理解を深める機会となる開かれた施設としての機能を果たしていることは評価できる。
<p>県 の 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。